

ベネズエラ経済（2017 年 1 月）

1 経済概要

（1）政府の各種政策・統計

●15日、マドゥーロ大統領は、最高裁において、2016年の一般教書演説を実施し、経済関連の政策については、非常事態及び経済緊急事態宣言の発動、100ボリバル紙幣の有効期限の1月20日から2月20日までの延長、社会ミッションカードの額面の引上げ等を発表。

（2）政府予算・財政

●16日、新紙幣（500ボリバル、5,000ボリバル、20,000ボリバル）の流通が開始。

（3）石油・天然ガス産業

●29日、マドゥーロ大統領は、PDVSAの社内取締役を以下のとおりに任命。

- ・エウロヒオ・デル・ピノ総裁（留任）
- ・マリベル・パラ副総裁（新任）
- ・ネルソン・フェレール生産担当副総裁（新任）
- ・ギジェルモ・ブランコ・アコスタ精製担当副総裁（新任）
- ・デルシー・ロドリゲス国際関係担当副総裁（留任、兼外務大臣）
- ・イスメル・セラーノ商業・供給担当副総裁（新任）
- ・マリアンニ・ゴメス企画・エンジニアリング担当副総裁（新任）

（4）自動車産業

●ベネズエラ自動車会議所（CAVENEZ）は、加盟全7社の1月の自動車販売台数は、157台（前年同月比59.4%減）と発表。

（5）その他産業

●ロイター通信によると、エア・カナダ航空は、ベネズエラ政府に対する未清算外貨問題を、国際投資紛争解決センターへ提訴。

（6）その他産業

●当地経済シンクタンク・エコアナリティカ社は、2016年1月～10月の民間部門への外貨清算額は、日量1,920万米ドルであり、2017年も同水準の外貨清算額が継続すると予測。

2 経済の主な動き

(1) 政府等の各種政策・統計

ア 経済指標・政策（予測）

●労働者情報分析センターによると、11月の家庭基礎食糧バスケット価格は、前年同月比482.3%増の月額544,990.78ボリバル、家庭基礎生活バスケット価格は、前年同月比433.9%増の月額743,596.88ボリバルであった。

(21日、26日付エル・ナショナル紙)

●IMFは、ベネズエラのGDP成長率に関し、2016年マイナス12%、2017年マイナス6%と予測し、ハイパーインフレに向かう経済危機が継続すると発表。

(24日付エル・ナショナル紙)

イ 副大統領及び大臣の交替

●4日、マドゥーロ大統領は、副大統領及び経済関連大臣の交替を以下のとおり発表（当館注：マドゥーロ大統領は、今回の閣僚人事において、下記の大臣を含め、11人の大臣の交替を発表し、32人の大臣のうち、11人の大臣が、国軍出身者となった。）。

- ・エル・アイサミ副大統領（アラグア州前知事）
- ・ネルソン・マルティネス石油大臣（PDVSA子会社CITGO社長）
- ・ラモン・ロボ経済・財務大臣（経済担当副大統領兼任。前国会議員（与党PSUV所属）。同省は、産業・商業省及び銀行・財務省を統合し創設）
- ・セサル・サラサル・コル公共事業大臣（海軍大将）
- ・フランシスコ・トレアルバ労働・社会保障大臣（前国会議員（与党PSUV所属））

(5日～6日付エル・ユニベルサル紙、エル・ナショナル紙、ウルティマス・ノティシア紙)

ウ 2016年の一般教書演説

●15日、マドゥーロ大統領は、最高裁において、2016年の一般教書演説を実施（経済関連の発表は以下のとおり）。なお、一般教書演説は、通常、国会で実施されるが、国会が最高裁の判決を遵守しておらず、国会による行為は無効である状況に鑑み、最高裁において実施すべきであるとの最高裁の宣告により、最高裁において実施された。

- ・非常事態及び経済緊急事態宣言の発動
- ・100ボリバル紙幣の有効期限の1月20日から2月20日までの延長
- ・社会ミッションカード（当館注：貧困層向けに発行される食糧等の購入を目的としたカード）の月額額面の39,000ボリバルから50,000ボリバルへの引上げ
- ・年間収入6,000租税単位（当館注：1租税単位＝177ボリバル（2017年1月末時点））以下の国民の納税義務の免除

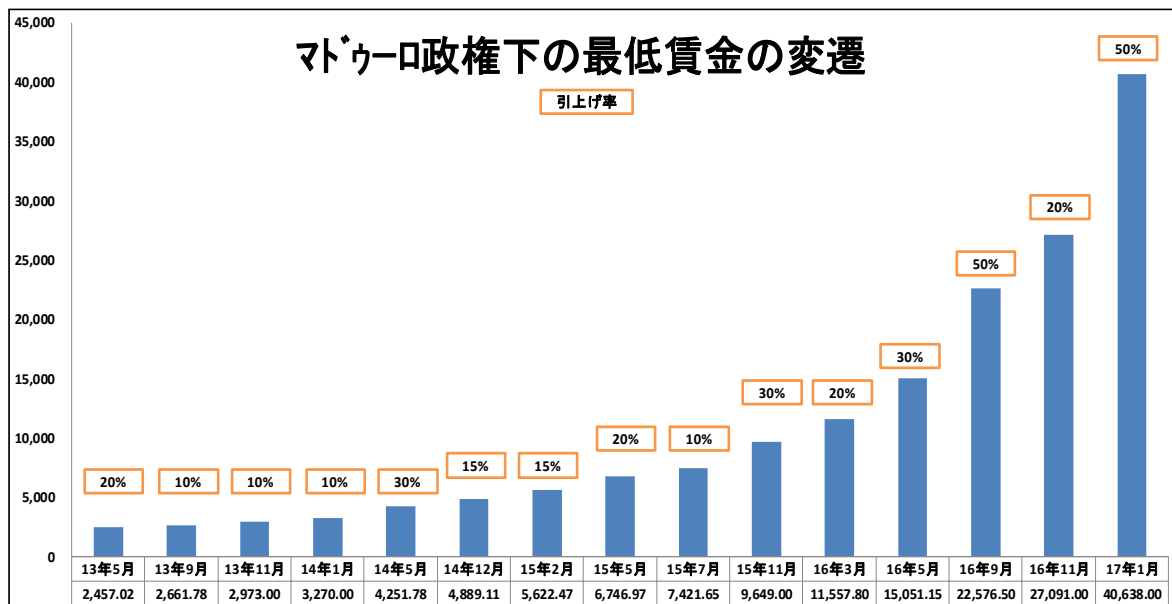
(16日付エル・ユニベルサル紙、エル・ナショナル紙、ウルティマス・ノティシア紙)

エ 最低賃金の引上げ

●8日、マドゥーロ大統領は、1月より、月額最低賃金を27,092ボリバルから50%引上げ、45,638ボリバルとすると発表。9日、トリアルバ労働・社会保障大臣は、8日に発表された50%の最低賃金の引上げは、1月1日に遡及して実施すると発言。

(9日、10日付エル・ユニベルサル紙、エル・ナショナル紙、ウルティマス・ノティシアス紙)

●マドゥーロ政権下の最低賃金の変遷 (単位:ボリバル)



(9日付エル・ユニベルサル紙、エル・ナショナル紙、ウルティマス・ノティシアス紙)

●ベネズエラとラ米各国の月額最低賃金(米ドル換算)の比較

順位(米ドルベース)	国名	米ドルベース	現地通貨ベース	16年インフレ率
1	パナマ	677米ドル	-	0.30%
2	アルゼンチン	508米ドル	8,060アルゼンチン・ペソ	41%
3	コスタリカ	507米ドル	278,207コロン	0.77%
4	ウルグアイ	425米ドル	12,265ウルグアイ・ペソ	8.10%
5	チリ	393米ドル	264,000チリ・ペソ	2.70%
6	グアテマラ	384米ドル	2,893.21ケツアル	4.23%
7	エクアドル	375米ドル	-	3.38%
8	パラグアイ	321.77米ドル	1,824,055グアラニー	3.10%
9	ホンジュラス	306米ドル	7,419レンピラ	3.30%
10	ブラジル	290米ドル	937レアル	6.29%
11	ボリビア	259米ドル	1,805ボリビア・アーノ	4%
12	ペルー	251米ドル	850ソル	3.23%
13	コロンビア	250米ドル	737,717コロンビア・ペソ	5.75%
14	ハイチ	133米ドル	9,000グールド	14.20%
15	メキシコ	110米ドル	2,401.2メキシコ・ペソ	3.36%
16	ベネズエラ	60米ドル(※1)	40,638ボリバル	520%(※2)
17	キューバ	23米ドル	584ペソ	2.70%

(※1:SIMADIレート換算, ※2:ベネズエラ政府の公式発表のインフレ率ではない)

(12日付エル・ナショナル紙)

オ 中銀総裁の交替

● 22日、マドゥーロ大統領は、サンギーノ国会議員（与党PSUV所属）を中銀総裁に任命。同議員は、17年間に渡り国会議員を務め、国会の財務・経済開発委員会の委員長を歴任。

（23日付エル・ユニベルサル紙、エル・ナショナル紙、ウルティマス・ネィション紙）

カ コロンビアとの国境地域における両替所の設立

● 9日、マドゥーロ大統領は、コロンビアとの国境地域（スリア州及びタチラ州）において、ボリバルとコロンビア・ペソの両替所を設立すると発表。10日、ロボ経済・財務大臣は、両替所設立の主な目的は、ベネズエラ国内通貨への攻撃を阻止するためであると発言。

（11日、12日付エル・ユニベルサル紙、エル・ナショナル紙、ウルティマス・ネィション紙）

● 16日、エル・アイサミ副大統領は、スリア州及びタチラ州において、8軒の両替所の稼働が開始したと発表。また、ビエルマ・タチラ州知事は、同両替所における為替レートは、1ボリバル＝4コロンビア・ペソを適用し、個人の1日の両替限度額は、現金の場合200米ドル、電子送金の場合300米ドルであると発表。

（17日付エル・ユニベルサル紙、エル・ナショナル紙、ウルティマス・ネィション紙）

キ その他

● 2016年の住宅ミッションによる建設戸数は、359,874戸であり、2011年からの累計建設戸数は、約135万戸に達した。

（5日付ウルティマス・ネィション紙）

● 17日、マドゥーロ大統領は、国営海運会社ボリプエルトスの署名式に参加し、ボリプエルトスは、同署名式において、ポルトガルの民間海運会社2社との合意書に署名。マドゥーロ大統領は、同署名により、ラ・グアイラ港の港湾オペレーション時間が、短縮され、同港は、カリブで一番の港になると発言。

（18日付ウルティマス・ネィション紙）

● 17日、ロドリゲス外務大臣及びマルティネス石油大臣は、キングストンにおいて、ホルネス・ジャマイカ首相と会談し、地区生産供給委員会（CLAP）向けの製品の供給国として参加するよう招請。また、同大臣等は、キングストンの製油所の拡張プロジェクトについても協議。

（18日付エル・ユニベルサル紙）

● 国際NGOトランスペアレンシー・インターナショナルは、2016年の腐敗認識指数ランキングを発表し、ベネズエラは、176カ国中、166位（ラ米において最下位）であった。

（26日付エル・ユニベルサル紙、エル・ナショナル紙）

●国際NGOトランスパレンシー・インターナショナルによる2016年の腐敗認識指数(CPI) ランキング (176カ国中)

順位	国名	得点	評価	順位	国名	得点	評価
1位	デンマーク	90	とても清廉	95位	アルゼンチン	36	腐敗している
	ニュージーランド			101位	ペルー	35	
20位	日本	72	清廉	113位	ボリビア	33	
21位	ウルグアイ	71		120位	エクアドル	31	
24位	チリ	66		123位	メキシコ	30	
52位	韓国	53	ほどほど		パラグアイ		とても腐敗している
60位	キューバ	47		159位	ハイチ	20	
79位	中国	40	腐敗している	166位	ベネズエラ	17	
	ブラジル			174位	北朝鮮	11	
90位	コロンビア	37		176位	ソマリア	10	

(2) 政府予算・財政

ア 外貨準備高

●1月31日付の外貨準備高は、106.77億米ドル（前月比2.7%減）となった。

(2017年2月2日付中央銀行プレスリリース)

イ 新紙幣の発行

●16日、新紙幣（500ボリバル、5,000ボリバル、20,000ボリバル）の流通が開始。

(17日付エル・ユニベルサル紙、エル・ナシオナル紙、ウルティマス・ノティシアス紙)

●17日、ロボ経済・財務大臣兼経済担当副大統領は、15日～60日間で、ATMにおける新紙幣の供給が開始されると発言。他方、銀行関係者の情報によると、新紙幣が全種類到着するまでは、ATMのシステム（現金取り出し口の口径等の）調整が実施不可のため、同紙幣が到着するまでは、ATMからの供給は不可であると発言。

(18日付エル・ナシオナル紙)

●19日、カーン中銀理事は、マイケティア国際空港に10,000ボリバル紙幣1,300万枚、5,000ボリバル紙幣1,850万枚の新紙幣の追加ロットが到着し、10ボリバル、50ボリバル、100ボリバルの新硬貨の流通も開始されたと発表。

(20日付エル・ユニベルサル紙、エル・ナシオナル紙、ウルティマス・ノティシアス紙)

(3) 石油・天然ガス産業

ア ベネズエラ原油価格・原油生産量（実績）

● 1月の原油輸出価格は、1バレル45.12米ドル（前月比0.5%増、OPEC同52.45米ドル、WTI同52.68米ドル、BRENT同55.5米ドル）。1月の原油生産量は、日量200.4万バレル（前月比0.8%減）。

（石油省、OPEC Monthly Oil Market Report January 2017 Secondary Sources）

イ PDVSA 新役員の任命

● 29日、マドゥーロ大統領は、PDVSAの大幅な回復のプロセスを進み、PDVSAの異なる階層における腐敗と戦い、PDVSAが宿す腐敗を健全化するために、以下のとおり、PDVSAの新役員を任命したと発表した。

- ・ エウロヒオ・デル・ピノ 総裁（留任）
- ・ マリベル・パラ 副総裁（新任）
- ・ ネルソン・フェレール 生産担当副総裁（新任）
- ・ ギジェルモ・ブランコ・アコスタ 精製担当副総裁（新任）
- ・ シモン・セルパ 財務担当副総裁（新任）
- ・ デルシー・ロドリゲス 国際関係担当副総裁（留任、兼外務大臣）
- ・ イスメル・セラーノ 商業・供給担当副総裁（新任）
- ・ マリアンニ・ゴメス 企画・エンジニアリング担当副総裁（新任）
- ・ ユルビス・ゴメス 社外取締役（新任、労働者から選出）
- ・ リカルド・レオン 社外取締役（新任、労働者から選出）
- ・ マルコ・トーレス 社外取締役（留任、兼食糧大臣）
- ・ リカルド・メネンデス 社外取締役（留任、兼企画大臣）
- ・ ウィルス・ランヘル 社外取締役（留任、兼政府系労働組合（La Central Bolivariana de Trabajadores）会長）

（29日付臨時官報第6284号大統領令第2703号、30日付エル・ナシオナル紙、ウルティマス・ノティシア紙）

ウ その他

● 石油産業労働者連盟（FUTPV）幹部は、2016年の国内の製油所の処理能力は、2015年の日量130万バレルに対し、日量40万バレルに減少し、同製油所の稼働率を60%に引上げるには、即座に50億米ドルの投資が必要であると指摘。

（5日付エル・ナシオナル紙）

●10日、米 ConocoPhillips 社は、PDVSA が、ロスネフチ社から融資を得るため、PDVSA の米子会社 CITGO 社の株式 49.9%を、その担保にしたことは、不正な取引であるとして、米デラウェア州の連邦裁判所へ提訴。

(14 日付エル・ナショナル紙)

●16日、マドゥーロ大統領は、カラカスにおいて、バルキンド OPEC 事務局長と会談し、両者は、減産合意によるポジティブなインパクトについてレビュー。マドゥーロ大統領は、2016年第1四半期、産油国首脳会合を開催する必要性を提言。

(17 日付エル・ユニバーサル紙, エル・ナショナル紙, ウルティマス・ノティシア紙)

●19日、デル・ピノ PDVSA 総裁は、カラカスにおいて、Liron ロスネフチ第一副社長と会談。両者は、マリスカル・スクレ等の天然ガス案件及び軽質油田への投資について協議。

(19 日付 PDVSA ホームページ)

(4) 自動車産業

ア 生産・組立／販売台数（実績）

●ベネズエラ自動車会議所（CAVENEZ）は、加盟全7社の1月の自動車販売台数は、157台（前年同月比 59.4%減）と発表。

(2月10日付 CAVENEZ 発表)

(5) その他

ア 航空

●国際航空運送協会（IATA）は、2016年の国内便の航空券の販売枚数は、国内便の座席数の減少等により、2015年に比べ、49%減少し、102.5万枚となったと発表。

(5日付ウルティマス・ノティシア紙)

●ロイター通信によると、エア・カナダ航空は、ベネズエラ政府に対する未清算外貨問題を、国際投資紛争解決センターへ提訴。

(25日付エル・ナショナル紙)

イ 医療

●ベネズエラ医薬品業界（Cifar）は、2016年の医薬品（輸入及び国産含む）の供給量は、2015年に比べ、33.25%減少したと発表。また、Cifar加盟企業24社の未清算外貨総額は、6.65億米ドルであるのに対し、2016年の同企業に対する外貨清算実績は、0.79億米ドルであったと発表。

(6) 外貨発給状況

●当地経済シンクタンク・エコアナリティカ社は、2016年1月～10月の民間部門への外貨清算額は、日量1,920万米ドルであり、2017年も同水準の外貨清算額が継続すると予測。

(5日付エル・ナショナル紙)

(了)